

## 第5回酒田市史跡山居倉庫保存活用計画策定委員会 議事概要

開催日時：令和5年1月27日（金）10：00～11：30

開催場所：酒田市民会館「希望ホール」3階 小ホール

### 1 開会

事務局	開会あいさつ。リモート参加に関する注意事項
-----	-----------------------

### 2 教育長あいさつ

鈴木教育長	鈴木教育長よりあいさつ 最終の委員会では、前回指摘事項の確認、市民ワークショップの報告、最終案についてご意見いただき、まとめていきたい。
-------	-------------------------------------------------------------------------

### 3 協議事項

事務局	田中委員長欠席のため、清野副委員長に議事進行を移す。
-----	----------------------------

#### (1) 市民ワークショップの実施結果について

事務局：柿崎	事務局より市民ワークショップの実施結果について説明。 ・市民ワークショップの結果を計画に反映させた。 ・今後の予定：最終案が出来次第、パブリックコメントを実施。策定作業終了後、ワークショップ参加者に対して個別に報告を実施する予定。
平山委員	パブリックコメントは計画全体に意見聴取を行うのか。いつ頃、どのくらいの期間か。
事務局：柿崎	計画全体を対象とし、3月中に20日間を予定している。
崎谷委員	商業高校跡地との連携に関する意見が見られた。市民ワークショップでは商業高校跡地の計画状況についてどの程度説明したのか。
事務局：川島	特に説明していないが、商業高校跡地との連携に関する意見はいただいた。
崎谷委員	商業高校跡地については市民の関心も高く、連携を気にしている。相互で情報公開しながら議論を重ねると、より具体的・積極的な意見が引き出せると思う。今後、整備基本計画等を進めるに当たって大事なことと思うので、セットで考えていただきたい。
中村委員	次年度以降、山居倉庫の整備基本計画の担当と商業高校跡地の担当を一本化して議論を進めることを考えている。

#### (2) 第4回委員会協議結果に対する事務局検討内容について

事務局：川島	事務局より検討内容について説明。 【p. 88～92 現状変更等の取扱い・維持管理の取扱い】 ・文化庁調査官と協議を実施、内容について了承を得た。 【p. 98～ 活用】
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会意見と市民ワークショップの意見を反映させた。</li> <li>・公開・見学の文章を修正、宿泊施設への活用について追記。</li> <li>・新井田川・最上川とのつながり・動線に関する活用方法を追記。</li> <li>・地域コミュニティに資する活用について追記。</li> </ul> <p>【p.103 整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災に関する防御について追記、表 9-1 追加。</li> <li>・サイン整備に関するデジタル化について追記。</li> </ul> <p>【p.107 運営・体制の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表 10-1 修正（誤認修正）。</li> <li>・図 10-2 修正（民間警備会社に関する注記追加）。</li> </ul>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 保存活用計画最終案について

事務局：川島	<p>事務局より最終案について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ p.2 例言の追記。</li> <li>・ p.4 計画策定の沿革・目的の追記、計画区域を設定（図 1-1 作成）。</li> <li>・ p.6 委員名簿の修正。</li> <li>・ p.7 策定の経過について追記。</li> <li>・ p.8 保存活用計画の位置づけ修正。</li> <li>・ p.64 火災リスクとして漏電の可能性を追記。</li> <li>・ p.101 ③活用に向けた防災・防犯対策を追記。</li> </ul> <p>などを修正。</p>
清野副委員長	<p>バリアフリーについて、商業高校跡地と指定地の動線を考えた場合、駐車場の位置、車いすでの移動などをどうするか、検討が不足しているように思う。整備基本計画の中に出てくるとは思うが。</p> <p>海外から山居倉庫に来る方々への配慮も記載できないか。交流人口の拡大において必要と考える。</p>
事務局：川島	<p>今後、商業高校跡地の図面等も出てくると思う。保存活用計画では、必要に応じて駐車場・駐輪場を整備するよう記載している。それらを踏まえ、詳しい部分は整備基本計画で詳細に進めていきたい。</p> <p>海外の方々への配慮はサイン整備での記載を検討する。</p>
清野副委員長	<p>市民ワークショップの成果は既に計画に盛り込まれているのか。</p>
事務局：川島	<p>宿泊施設等の活用などの意見を、活用と整備に盛り込んでいる。</p>
平山委員	<p>市民ワークショップの意見にもあるが、整備に税金を投入しているのに市民への還元がないとならないよう、商業高校跡地との関係で市民一人ひとりが使える形が望ましい。保存の根本としては、他の地域には見られない独自の施設を酒田で生まれた子どもたち、市民が誇りに思える事が前提としてあって、歴史的背景を理解した上で市民が使う、観光客も使うということを示していただければと思う。</p>

事務局：川島	本計画を再確認し、次の整備基本計画に活かしていきたい。
河村委員	市民ワークショップの意見にある“年間80万人が訪れるが「来る」だけになっていないか。”はリアリティがあると感じた。滞在時間をどのように設計できるのかが山居倉庫を印象付ける大きなポイントだと思う。酒田のシンボルになる施設であるため、ライトアップによって夜でもわかるようにしてはどうか。整備基本計画のスケジュールについては、次年度以降、優先順位をつけて重要なことから手を付けていくことが必要になると思う。
事務局：川島	整備基本計画の参考としたい。
井上委員	p. 98「活用の方向性」が大事と感じた。やるやらないは別にして、意見を盛り込んでいくことが必要と理解した。特に大事なのは商業高校跡地との連携と、市民も使いながら観光にも資すること。使ってもらえる活用を進めていただきたい。保存については、専門家の皆様に任せるが、石畳と並木の保存をいかに恒常的にやるのかではないかと思う。
事務局：川島	幅広く活用できる計画とさせていただいた。意見を参考に整備基本計画を進めていきたい。
崎谷委員	p. 35の本質的価値が記載されている。物が残っている、風景が残っていることのほか、対外的なネットワーク・つながりの役割があったと思う。これまでは他の地域とのつながりだったが、これからは地域の中におけるつながりの拠点になっていったらよいのではないか。その両面を作っていくことを強く意識しながら進めていくことが必要と思う。酒田の地域コミュニティの魅力、つながり、特徴が海外の方々に注目されるのではないか。文化・風土を育んできた川を基軸に考え、地域のつながりを生むシンボル・拠点としての新たな価値を山居倉庫に作り出すということを、この計画で共有できたらよいと思う。
事務局：川島	川に関するネットワークについては、整備基本計画にも反映させたい。
荒木委員	おいしいお米の一大産地としての誇りを酒田市民は持っていると思うが、調整が行われているのか気になる。米の生産と出荷は今でも継続されていることなので、改めて小中学生に、日本の食文化を支えている地域ということを理解してもらおうコンテンツがあればもっと誇りが持てるのではないか。そういった文脈でも伝えていける場所にしていければと思う。
事務局：川島	小学校5年生の教科書に庄内平野の米づくりが記載されているが、山居倉庫が載っていないため、出版社にも働きかけていきたい。酒田市内の小学校では見学を行っており、魅力を伝えていく努力をしていきたい。
井上委員	お話を聞いていると大事なポイントがある。「特に」などの文言を使った書き方で強調できないか。
事務局：川島	パブリックコメントまで修正期間があるため、事務局で検討する。

崎谷委員	コンセプト（キャッチコピー）が一言あるとよいのではないか。保存活用計画でそういうことができるのかわからないが。
事務局：川島	事務局で検討する。
渡部委員	市民ワークショップで並木に関する意見があった。今までの10年20年よりこれからの10年は木の痛みが加速するので早めに対応が必要となる。ケヤキだけでなく、クロマツもマツクイムシへの対応（消毒・剪定）などが必要。 土産屋だけでなく見学者の増加への対応もお願いしたい。
佐藤委員	山居倉庫ができた歴史、地域の関係性に活性化のヒントがあると思う。地域全体を再考しながら学んでいくことが、新たなスタートになると思う。
平山委員	今の小・中学生が社会に出た時に、自分たちの地域にはこういう施設があると胸を張っていえるように学び、誇りに思ってもらいたいと思う。長岡では小中学校で長岡花火を学び、これが長岡空襲の慰霊のためであるという一人ひとりがいえる。酒田でも山居倉庫が日本の食文化を支えたといえることが地域にとって必要である。 観光客80万人は非常に多い。富岡製糸場でも30万人。ただし、施設を「理解して」満足してもらえるようにすることが今後の活用に必要なと思う。
河村委員	子どもたちが自分たちの町にこれがあると強く認識している地域は強いので、シビックプライド醸成の観点是非常に重要と思う。
中村委員	小学校5年生の社会の教科書に庄内平野の米作りの記載がある。米作りの元になっているのは最上川の水で、庄内平野では最上川の水を取水して米作りが行われている。ゆえに、最下流に山居倉庫があるのは象徴的だと感じた。
清野副委員長	今回が最後の委員会となるため、本日いただいた意見は、最終的には田中委員長に報告し、委員長一任となる。修正した点は各委員へフィードバックする。

#### 4 その他

清野副委員長	改めて各委員から一言ずつコメントをいただければと思う。
崎谷委員	充実した保存活用計画になったと思う。文化財保護法改正で地域総がかりが名言され、文化財の保存と活用において、山居倉庫が代表する場所になっていくとよい。また、海外からも酒田の素晴らしさを体感していただけるような場所・地域になればよいと思う。コンセプトの私案を述べるとすれば、サブタイトル案：「地域とともに、川とともに」のようにすると英語にもしやすいのではないか。
井上委員	自分で気づけなかった観点があり、改めて勉強になった。市民の誇り、大事な地域・施設としてうまく使ってもらいたいと思う。

荒木委員	今後、保存活用計画が進んでいくと思うが、既に酒田に関わっている立場として、個別で動けるものがあると気づいた。酒田の産業と観光が発展していくように動いていきたい。
渡部委員	皆さんの意見を聞きながら勉強になった。今後ともよろしくおねがいします
中村委員	史跡の価値を大事にすることと、市民・国民の大事な財産として、大切に守り、次の世代へ伝えることが重要と考える。活用については、次年度以降、市民参加を確保しつつ、文化庁、山形県の指導を受けて整備基本計画をまとめていきたい。
佐藤委員	酒田の出身でありながら知らない事も多く勉強させていただいた。山居倉庫は日本全国の食のありかた、歴史を学ぶ上で重要な施設だと思う。これを未来に繋げていくために議論を重ねていければと思う。
河村委員	日本の食文化を支えた基盤である米作りが、山居倉庫の史跡化によって、誇りとなって、未来に紡ぐ一つのスタートラインに立ったと思う。未来に紡ぐに当たって、どう山居倉庫の価値を出していくのが重要とっていて、特に活用の方法について、市民ワークショップの意見を含めて具体化されたことが良かったと思う。
平山委員	山居倉庫は素材として非常によいものだと思う。ど真ん中に来た球をどのように打ち返すべきなのか、どのように打ち返したいのかだと思う。山居倉庫は建物も残っているし、周辺で米づくりも行っている。地域性や風土もあって形が残っている。それらを含めて市民、集う国民、全世界へどのように発信するのが、酒田市や日本のためになる。先進事例を参考にしながら、よりよい形で活用できればと思う。
清野副委員長	建設から 130 年という長い年月が経ち、美しい景観を保つ。外から来る方々には異空間の世界が広がっていると考えている。これまで維持管理を行ってきた方々には感謝申し上げたい。山居倉庫には庄内における米の歴史が詰まっており、我が国の近現代の米穀流通を物語る施設ということで、計画書がよりどころになって、保存・活用されていくことを願いたい。歴史ある酒田の町が、山居倉庫と一体となって、市民に理解されていくとよいと思う。
鈴木教育長	高校教育の現場にいた頃、高校生がワークショップから帰ってくると、真剣に考えている大人の姿に驚くようで、そういった過程を見せることが子供たちにとって大事で、自らが考え意見を持つ授業などに繋がれば良いのではないかと感じた。

## 5 閉会

事務局	閉会のあいさつ
-----	---------